

9/2 宜野湾市の美化形成と教育現場への貢献を願う  
錦鯉を寄贈いただきました



大見謝貴子さん

那覇市在住の大城ハツ子さんより、錦鯉26匹の寄贈をいただき、池や水槽設備を有する市内の公共施設および教育施設に放流されました。夫である故・大城利常さんが生前飼育していた鯉で、寄贈に立ち会った次女の大見謝貴子さんは「父と母が長年にわたり愛情をかけた鯉です。教育現場では、生き物を大事にする豊かな気持ちを育む情操教育の一環になればうれしいです。広く市民の皆さんに愛されることを願います」と思いを話しました。

9/6 市の振興発展に多大な功績  
9/13 松川正則前市長へ特旨叙位および特別叙勲伝達

生前、長年にわたって本市の振興発展にご尽力された松川正則前市長の功績に対し、特旨叙位として「正六位」が、特別叙勲として「旭日小綬章」が授与されました。松川前市長は、第4代、第5代副市長、第18代、第19代市長として地方自治に大きく貢献した功績が認められ受章となりました。この日は、奥さまの秀子さんへ、和田副市長から位記、勲記、勲章の伝達が行われ、秀さんは「突然のことでいまだに信じられませんが、主人の行ってきたことが市のためになっていたのなら誇りに思います。ありがとうございました」と感謝の言葉を述べられました。また、伊藤沖縄防衛局長より、ご親族の方々へ防衛大臣感謝状が贈呈されました。



8/19 温かなご支援ありがとうございます。  
JAおきなわ宜野湾支店 食料品寄贈式



JAおきなわ宜野湾支店関係者の皆さんが市役所を訪れ「第5回もったいない市」の報告会および食料品の寄贈を行いました。今回は、そうめんやレトルト食品などの食料品や、新学期セットを寄贈いただきました。これらの物資は、各担当部署を通して、支援を必要とする家庭へ届けられます。宜野湾支店金融部の大島良克部長は「今後とも持続可能な貢献をさせていただきますのでよろしくお願いします」と挨拶しました。

8/29 ファミマフードドライブ活動に参加します！  
食品の提供に関する合意書調印式



宜野湾市と株式会社沖縄ファミリーマートとのフードドライブ活動に伴う「食品の提供に関する合意書」の調印式が執り行われました。株式会社沖縄ファミリーマートの久高達郎営業部次長は「今後も、ファミマフードドライブの展開を進めていき、地域貢献をしていきたいと思います」とあいさつしました。また、夏休み前には、お菓子3,600袋の寄贈をいただき、子どもの居場所、自治会等への配布を行いました。

8/9 職員と外国人市民との架け橋として  
国際交流員 アヴァンティカさん着任



8月から3代目国際交流員としてアヴァンティカさんが配属されました。日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民の行政手続きをスムーズに行うための通訳サポートを行うなど、職員と外国人市民との架け橋を担っていただきます。アヴァンティカさんは「皆さまが豊かな生活を過ごせるようサポートしながら、多文化間の友情と理解を促進していきたいと思います」と話しました。配置日時：平日 9:00～17:00

8/13 地域に寄り添う相談役として  
民生委員・児童委員委嘱状伝達式



市役所にて「民生委員委嘱状伝達式」が執り行われ、野高三区推薦の安座間湖帆さん、児童家庭課推薦の仲地真由美さんへ、島袋喜美恵福祉推進部長より厚生労働大臣と沖縄県知事からの委嘱状が伝達されました。仲地さんは「子どもたちと関わるのが大変好きで、民生委員がまさに天職だと思っております」と話し、安座間さんは「一生懸命務めていきたいと存じますので、よろしくお願いいたします」とあいさつしました。

8/14 はごろもわくわくキッズ隊・チャレンジ隊  
14公民館で夏休みのボランティア体験！



大山公民館では、今年も夏休みのミニデイサービスボランティアが行われ、大山小学校から1人、真志喜中学校から2人が、はごろもわくわくキッズ隊・チャレンジ隊として参加しました。地域の高齢者の方々と一緒に体操を行った後、皆で交流をしながら食事を頂くなどボランティア体験を行いました。真志喜中学校3年生の城間海音さんは「お年寄りに対して少し否定的なイメージがあったが、実際には活気のある方が多く、お年寄りに対する見方が変わりました」と話しました。

8/2 「縦糸 横糸 繫心 進んで協力 じのーんちゅ」  
第25回宜野湾市中学生スクールサミット開催



市社会福祉センターにおいて「令和6年度 第25回宜野湾市中学生スクールサミット」が開催され、市内4公立中学校生徒に加えて、山口県岩国市から3公立中学校の皆さんがオンラインで参加し、各学校の抱えている課題、それに対する解決策などをプレゼン形式で報告しました。全体交流会では「改正すべき校則について」をテーマに、「ツープログ」や「眉毛整え禁止」などの校則について積極的な意見共有と交流を行いました。

8/5 県内58チームが熱い試合を繰り広げました！  
第3回宜野湾市長杯学童軟式野球大会開催



ユニオンですからスタジアム宜野湾にて「第10回トロピカル沖縄交流学童軟式野球大会・第3回宜野湾市長杯学童軟式野球大会」の決勝戦が行われ、県内から参加した58チームの中から、前田ホークス(浦添)が見事優勝に輝きました。大会会長を務めた一般社団法人 沖縄県野球連盟 中部南支部の新垣光栄学童部長は「これからも野球を楽しむ心を忘れず、切磋琢磨し活躍することを期待しています」と激励しました。

9/9 第20代宜野湾市長当選証書付与および市長就任式



令和6年9月8日に執行された宜野湾市長選挙の当選証書付与式が宜野湾市役所多目的会議室にて行われ、市選挙管理委員会の喜瀬昭夫委員長より、当選した佐喜眞淳新市長へ当選証書が付与されました。佐喜眞市長は「亡くなられた松川正則前市長の意志を継承し、「宜野湾がいちばん」をテーマに掲げた市政運営を行うとともに、市民の皆さまに「選んでよかった」と感じてもらえる市政運営を行うことが私の使命であると感じます。掲げた公約をしっかりと実現し、宜野湾市10万人の市民の皆さまに喜んでもらえるよう、宜野湾市の発展に尽力してまいります」とあいさつしました。また、同日行われた市長就任式にて、市職員が見守る中「これから4年間、市政運営を行っていくにあたり、職員の皆さまの力が必要となります。宜野湾市の発展と市民生活の向上を実現させるには、最も危険な飛行場と言われる普天間飛行場の一日も早い返還を求めていくことが重要です。「宜野湾がいちばん」そして「思いはひとつ」をキャッチフレーズに、職員の皆さまと一丸となって、市民のために笑顔を決やらず、市民に還元する行政サービスを心がけていきたいと思います」とあいさつしました。

8/9 道路を常に広く、美しく、安全に利用できるよう  
令和6年度「道路ふれあい月間」道路清掃活動



道路愛護活動の一環として本市真志喜地区市道にて、市道路行政に係る6団体(宜野湾市建設業者会・宜野湾市調査測量設計会・宜野湾市はごろも緑花会・宜野湾電友会・宜野湾市管工事協同組合・宜野湾市技術支援コンサル会)および市職員、参加人数163人のもと道路清掃を実施しました。本活動は、毎年8月を「道路ふれあい月間」として定め、道路の役割や重要性の周知および道路美化活動、安全利用の啓発などを推進することを目的としております。